

1～4号炉は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2024年12月2日 発行

- 発電所の業務をご紹介します
- 重機の点検・操作訓練を行っています
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 当直員による消防訓練を行いました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



木戸ダム（楡葉町）
撮影日：2024年11月8日



みなさまの声をお聞かせください
こちらのメールアドレスにてお待ちしております。
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。
<https://www.tepcoco.jp/2f-np/index-j.html>

発電所の業務をご紹介します

今回は総務部 資材グループです

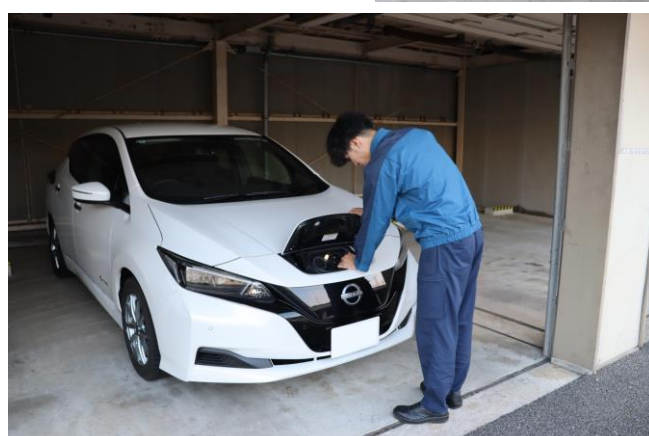
資材グループは、今後40年間かけて実施する福島第二原子力発電所の廃炉に向けて必要となる資機材及び請負工事などの調達契約や設備維持を目的とした貯蔵品管理業務、その他発電所運営に必要な業務車両の維持管理を担当しています。

最近の大きなテーマとして、「カーボンニュートラル宣言」を先駆けに「2025年まで50%、2030年までに100%」業務車両（特殊車両等を除く）を電動化することを表明し、随時「EV車両」へ取り替えを実施しております。

また、EV車両は移動のための動力源として化石由来のガソリンに代えて電気を「つかう」機能（電化）、そして電力系統における再生可能エネルギーを最大限活用するための「ためる」機能（蓄電）、さらに災害時には動くエネルギーとしての地域レジリエンス機能（防災）などを兼ね備えています。カーボンニュートラルおよび持続的なエネルギーセキュリティ確保のために果たす役割は非常に大きく、率先してEV普及のムーブメント創出に繋げて参ります。



納入したEV



EV車両納車立ち合い時の様子

一人前の「資材マン」になるために

－業務について教えてください

主に資材契約（購買・工事・委託）、貯蔵品管理・車両管理を担当しています。資材契約の業務では、公平・公正を念頭に、常に社内マニュアルや関係法令等を確認し業務を遂行することを心掛けています。

また、車両管理業務においては、リース会社と連携し車両の取替や法定点検・整備を担当し適切な車両管理に努めています。

－業務を行う上で心がけていることは

私は今年入社した新入社員です。入社当初はどの業務も初めての経験で不安がありましたが、所長との懇談で「刺激となる不安がないと何かをすることはできない」と助言を頂き、不安を持つことは悪いことではないと気付くことができました。現在は、何事も前向きに捉え上司や先輩のアドバイスを吸収し、積極的に業務に取り組んでいます。

福島第二原子力発電所では、二酸化炭素排出の削減を図るため、環境に配慮したEV車両を導入しました。従来のガソリン車と異なるシステムや操作方法をしっかりと理解するとともに、EV普及の醸成創出、環境負荷の低減につなげてまいります。



総務部 資材グループ

すがなみ れお
菅波 伶王（いわき市出身）

重機の点検・操作訓練を行っています

地震や津波などの大規模な自然災害を想定し、ガレキの撤去や道路の復旧などの初動対応を迅速に行えるよう、高台に重機を配備し、定期的に点検や操作訓練を行っています。引き続き所員の現場対応力向上に努めてまいります。



バックホーの外観点検



ブルドーザーの外観点検



バックホー（解体用）の操作訓練



ホイールローダーの操作訓練

発電所構内の空間線量

（単位はマイクロシーベルト毎時）

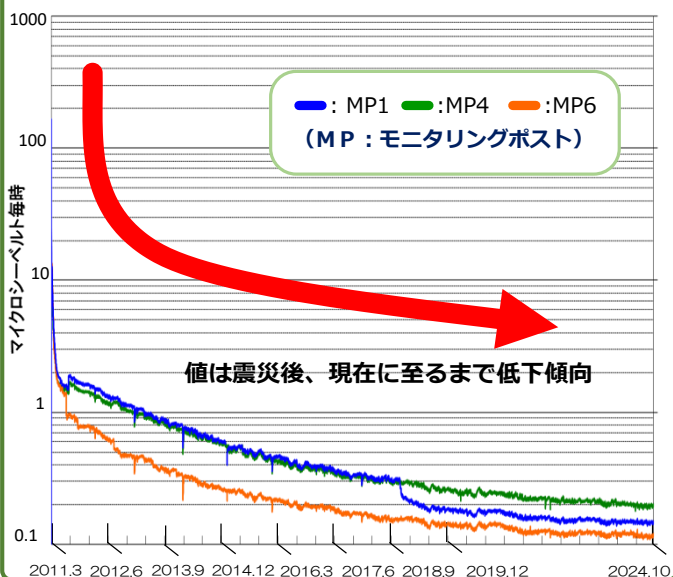
発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2024年11月20日 時点

0.07 [MP7] ～ 0.20 [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで（2011年3月16日～2024年10月31日）



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（文化交流センター）機器調整中	楢葉町（役場）	0.06
広野町（役場）	川内村（役場）	0.05

出典：福島県放射能測定マップ（市区町村別線量率一覧）より（2024年11月20日 時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	ソウル（韓国）	0.12
上海（中国）	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：Safecast（福島県放射能測定マップ）より

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて原子炉から取り出し、1～4号炉の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号炉	2号炉	3号炉	4号炉

当直員による消防訓練を行いました



発電所では、使用済燃料の安定冷却を継続していますが、その状況を24時間監視しているのが当直員です。当直員は、通常の業務（中央制御室での監視や現場機器の巡視・操作など）のほかに火災を想定した訓練なども行っています。

10、11月に実施した消防訓練では、消防車や消火栓を使用した放水までの一連の動作や、防火服を実際に装着し使用方法を確認しました。

緊急時には、現場に一番近い当直員が迅速かつ的確な初期対応ができるよう、引き続き訓練に励み経験を積んでまいります。



防火服の着脱訓練



消火栓の取り扱い方法の確認



消火栓放水訓練



ロープの結索訓練



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくり等のため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております。

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくり等の参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,431人※です。(2024年10月1日現在)

※1日あたりの入構者数は約960人

	東京電力HD	協力企業	合計
県内	345人	1,865人	2,210人(91%)
県外	55人	166人	221人(9%)
合計	400人	2,031人	2,431人(100%)

編集後記

今年も残すところあと1ヶ月となりました。みなさん、これからクリスマスや年末年始を迎えるにあたり、人混みの中に出かける機会もあるかと思われます。コロナやインフルエンザには、十分にご注意いただき、良いお年をお迎えください。また、今年も「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧くださいありがとうございます。



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全・安心を第一に廃止措置を進めてまいります。



Facebook.com/OfficialTEPCO



公式エックス @OfficialTEPCO



編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜浜12
Tel 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)